

1. 単元名 「災害に強いまちづくり」

2. 単元の目標

- 自然災害や防災について調べ、災害から身を守るための自助・公助・共助の考え方がることや、自治体や、他地域での取り組みをもとに自然災害や防災と自分たちの生活との関わりに気づいたり、自分たちの地域にとって必要なことについて理解したりすることができる。【知識・技能】
- 自然災害や防災について収集した複数の情報を比較・分類したり、関係付けたりしながら防災と自分たちの生活について資料などにまとめて表現することができる。 【思考力・判断力・表現力】
- 自然災害や防災に関心を持ち、自己の生活を見つめ直し、探求的な学習や体験を通して得た知識や自分の考えと異なる友達の考え、専門家の意見を生かしながら協働して課題解決に取り組み、自分の命を守る行動の重要性を伝えようとする態度を育てる。【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、令和2年度の豪雨被害の経験を通して、自然災害を身近なこととして捉え、防災の取り組みとして自分たちができることを考える。

「自助」の取り組みとして、地震や豪雨などの自然災害などについて調べ、原因や被害、備えについて知ること、自分たちの命を守る行動について考えるとともに、次に災害が起こったときに自ら考え、行動できるようにしたい。さらに、「共助」の取り組みでは、地域の取り組みを知ることで、地域の一員として自分に出来ることを考え、地域と共に協力して行動することの大切さも考えられるようにする。

(2) 児童観

本学級の児童は、令和2年度の豪雨、令和3年度の長雨を経験したことで、災害や防災についての関心は高い。しかし、事前のアンケートでは、本年度の長雨の際、避難指示が出ていても避難所に避難した児童はいなかった。その理由として、「家の人が避難しなくていいとあったから」「前回の豪雨の時にも避難しなかったから」などがあげられた。関心はあっても、自分事として捉えることができず、防災に対する意識は低く、自分の命を守る行動であることに気づくことが難しい。そこで、本学習課題を解決していく事を通して、防災課題を自分事として捉え、自助・公助・共助の重要性を実感し、地域社会の一員として防災に対する意識を高め、行動に移すことができるようにする。このことは、将来において地域に役立つことを考え、災害に強いまちづくりをしていく子どもを育てる上からも意義深い。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、令和2年度の豪雨災害時の写真を提示し、体育館に避難した経験を想起させることで、自然災害を身近なものとして捉えさせる。さらに、大牟田市防災対策危機管理室の方から土砂災害に関する話や避難所の話聞くことを通して、大牟田市が進めている「災害に

強いまちづくり」について知り、「災害に強いまちづくり」とは、どのようなことなのかについて自分の考えを持たせ、単元の課題を設定する。

次に、課題をもとに、令和2年の豪雨災害と令和3年8月の長雨の状況や被害などの情報を比較、分析する過程では、アンケートを取り、自分たちの行動や知識をグラフに表し視覚化したり、地域の方の思いを知ったりすることで、「ひと・もの・こと」の観点から「災害に強いまち」になったのかどうかを考えさせる。さらに、「災害に強いまち」にするためにもっと知りたいことや他の地域の取り組みを調べることを通して、自助の取り組みについて考えさせ、ガイドブックやリーフレットにまとめる。

さらに、地域のコミュニティーが独自に作成された防災マップの取り組みを知ることで、自分たちも地域の方と一緒に防災に取り組みたいという意欲を持たせ、地域と協力した防災マップ作りを、互助の取り組みとして行っていく。

#### (4) ESDとの関連

##### ○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ・有限性・・・自然災害に対する私たちの知識や能力には限界があること。
- ・連携性・・・防災について計画、実践するためには、自分と自分を取り巻く人や自然、地域とのつながりが大切であること。
- ・責任性・・・災害に強いまちづくりのためには、そこに住む自分たちの行動が大切であること。

##### ○本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・未来を予測して計画を立てる力  
これまでの経験を生かし、未来を予測して災害を防いだり、被害を減らしたりしていくために、一人一人が心がけること、地域に働きかけることは何かを考えることができる。
- ・批判的に考える力  
防災に関する多くの情報の中から、必要な情報を収集・取捨選択・整理し、考えを深めながら課題を解決することができる。また、被害が少なかったのは、市役所の方や地域の方などたくさんの方の日頃の防災のための対策があったことに気付く。
- ・協働的問題解決力  
大牟田の防災について防災室の方から話を聞いたり、地域の方と一緒に防災マップを作っていく上で、質問をしたり、話し合ったりすることで自分の課題解決を行う。
- ・つながりを尊重する力  
防災学習を通して、自分と地域のつながりを大切にすることができる。

##### ○本学習で変容を促すESDの価値観

- ・世代間の公正を重視する  
防災・減災についての知識・技能を身につけることで、将来も地域に住み続けることができることが分かる。
- ・自然環境・生態系の保全を重視する  
人為的な自然破壊が災害につながることを理解し、地域の自然環境を大切にすることが重要であることが分かる。

- ・ 幸福感を大切にする

経験したことの無いような災害が起きても、地域の方と協力することで災害を乗り越え復興へ向かう気持ちを高めることができることが分かる。

#### ○達成が期待されるSDGs

- 1 1 まちづくり
- 1 3 気候変動
- 1 5 陸のゆたかさ
- 1 7 パートナーシップ

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 災害から身を守るための自助・公助・共助の考え方があることを理解している。	① 自然災害や防災について収集した情報を比較したり、分類したり、関係づけたりして資料にまとめて表現している。	① 自然災害や防災に関心を持ち、探究的な学習や体験を通して、他者と協働して課題解決に取り組んでいる。
② 防災について自治体での取り組み、他地域での取り組みをもとに、自分たちの地域に必要なことについて理解している。	② 発信したい内容をわかりやすく伝えるための方法を考え、構成を工夫してまとめることができる。	② 自然災害や防災と自分たちの生活の関わりに気づき、自分の命を守るための行動の重要性を伝えようとしている。

#### 5. 単元の指導計画（全35時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価
1 ②	○自然災害や防災について調べ、知識を広げる。 ・大牟田の豪雨災害を想起し、自然災害について知りたいことを調べる。 ・地域が土砂災害指定地域になっていることから、土砂災害の原因や災害時の行動などについて、防災危機管理室の方から話を聞く。  理科「流れる水の働きと土地の変化」	・自然災害を身近に感じさせるために、昨年度体育館に避難したことを想起させたり、大牟田市の豪雨災害時の写真を提示したりする。 ・土砂災害に特化して防災危機管理室の方から話を聞くことで、自分事としてとらえることが出来るようにする。 ・理科の学習と関連させることで、水の量が増えたときの働きについて知ることが出来るようにする。	ウ①② (主体的) ア② (知・技)
2 ⑥	災害に備えるための「災害に強いまちづくり」とは、どのようなことなのだろう。 ○昨年度と今年度の豪雨による災害について情報を収集し、比較する。	・自分たちの意識の低さや地域の方の思いとのズレに気付かせ課題を見出すために、アンケートをグラフ	イ① (思・表・判) ウ② (主体的)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関するアンケートから、災害に対する自分たちの意識を確認する。</li> <li>・地域の消防団の方のインタビューを聞く。</li> <li>・豪雨と長雨の被害を比較し、情報をまとめる。</li> </ul>	<p>に表し視覚化したり、消防団の方のインタビューを聞かせたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を比較しやすくするために、防災危機管理室の情報をあらかじめ調べ、個人のタブレットに転送する。</li> </ul>	
3 ⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題別グループで調べ、情報を収集する。</li> <li>・避難所グループ</li> <li>・土砂災害グループ</li> <li>・防災グッズグループ</li> <li>・避難所設営グループ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別グループで「命を守る行動」を「事前・事中・事後」の観点で調べまとめることができる。</li> </ul>	イ② (思・表・判)
4 ④	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことをグループごとに発表し、整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを新たに「自助・公助・共助」の観点で整理・分析することで、自助の取り組みを明確にし、自分に出来ることを考えることができるようにする。</li> </ul>	ア① (知・技)
5 ⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大牟田市の関連機関の取り組みを調べ、課題解決をし、発信する。</li> <li>・防災危機管理室の方に自分たちの取り組みについてのアドバイスをもらい、考えを付加・修正する。</li> <li>・調べたことや自分たちの考えた取り組みを発信するため、ガイドブックやリーフレット、ポスターを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの取り組みが実際の取り組みとして成り立つかを再考するために、アドバイスをもらう。</li> <li>・内容を精査したり、構成を考えたりさせるために、学校や地域に発信するという相手意識を持たせる。</li> </ul>	イ①② (思・表・判)
6 ⑦	<p>「災害に強いまちづくり」のために、できることは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の防災マップの取り組みを知り、自分たちも一緒に出来ることを考える。</li> <li>・地域の方と一緒に校区を調べ、子ども目線での防災マップを作り、地域に回覧してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の一員として地域の防災について考えを深めるために、防災マップについて知り、自分たちも一緒に防災マップ作りに参加したという意欲を持たせる。</li> </ul>	ウ① (主体的)
7 ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの学習の振り返りをする。</li> <li>・これからの自分に出来ることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して、自分の考えの変容やよさに気付かせ、これからの自己の生き方を振り返らせる。</li> </ul>	